

会議名	第5回新城地域協議会		公開
日時	平成29年8月17日(木) 午後7時00分～午後9時15分	場所	勤労青少年ホーム 2階 集会室
出席者	(委員) 今泉仁、岡山博、柿原典子、稗井修、山田敏晴、夏目文男、加藤賢一、伊藤美代子、笹田明男、石野敏弘、牧野直美、藤村信芳、村田孝司、森正彦、後藤幸子、鈴木健二、上田寿彦、奥平宏幸、村田博和、今泉栄、村澤光美		
	(事務局) 自治振興課：三浦理事、黒田主任 新城自治振興事務所：鈴木所長、川合主任		
欠席者	(委員) 野末史朗	傍聴者	なし
配布資料	次第、新城地域協議会だより(案)、平成30年度新城地域自治区 予算事業計画(案)、平成29年度新城自治区予算執行状況、地域 計画策定体制(案)		

議題・議事・発言等(要点記録)

<p>1 開会 会議成立の報告及び会議録署名委員の指名 (村田孝司委員、森正彦委員、後藤幸子委員)</p> <p>2 議事 (1) 平成30年度地域自治区予算(案)について 地域自治区予算分科会で検討された平成30年度地域自治区予算案の内容について、事務局及び地域自治区予算分科会の森委員長から説明した。協議の結果、地域自治区予算分科会の提案のとおり、平成30年度地域自治区予算事業案が決定した。</p> <p>(2) 平成29年度地域自治区予算執行残額について 地域自治区予算分科会で検討された今年度の地域自治区予算執行残額の利用方針について、事務局から説明した。協議の結果、地域自治区予算分科会の方針のとおり、防災専門部会運営事業として、未整備となっている避難場所の防災倉庫へ防災資機材の整備を行うという案で決定した。</p> <p>(3) 地域計画の策定体制について 事務局から、7月27日(木)に開催した地域計画勉強会の内容等を踏まえ、地域計画策定体制案について説明した。協議の結果、地域計画分科会を設置し、今年度中に計画素案を策定することとなった。また、地域計画策定にあたり、平成25年度及び平成28年度に新城地域自治区で開催した大茶話会の意見を分析し「安全・安心」、「高齢化対策」、「子育て」、「賑わい」の大きく4つの課題集約されることから、分科会委員は、その4つ課題からいずれか1つ課題を担当することとなった。また、地域計画に、より多くの地域の意見を反映させるため、既に地域で課題解決のために活動している団体に入って、その意見を吸い上げ、</p>

それを分科会で取りまとめて地域計画素案を策定する方針となった。地域計画分科会の委員長及び委員構成については、協議の結果、下表のとおり決定した。

地域計画分科会名簿

役職	氏名	担当課題
委員長	笹田 明男	賑わい
委員	柿原 典子	子育て
委員	加藤 賢一	安全・安心
委員	伊藤 美代子	高齢化対策
委員	石野 敏弘	賑わい
委員	牧野 直美	高齢化対策
委員	森 正彦	高齢化対策
委員	奥平 宏幸	安全・安心
委員	村田 博和	子育て

主な意見

【平成30年度地域自治区予算（案）について】

委員：地域の子どもたちのための予算として、新城こども園のプールサイドの日除けの設置ということであるが、城北こども園はどうか。

事務局：城北こども園のプールサイドには既に日除けが設置されている。それ以外で、城北こども園からは、未満児のための知育玩具の整備という要望が挙げたが、自治区予算分科会で検討した結果、備品整備の必要性と、高額であることなどから、自治区予算事業から外すこととなった。

委員：地域のまちづくりのための予算について、古い町並マップを作成するということが、新城城址の案内看板が周辺になく、初めて来た人は新城城址がどこにあるか分からないので、その設置費用を予算に入れることができるか。

事務局：自治区予算案に案内看板の設置費用は入っていないため、入れる場合は、協議していただいた上で、予算案とすることはできる。ただ、マップを作成ということは、地域内の歴史資源等を見直し、それに基づき、次年度以降に案内看板を設置してPRするなどの展開を考えられると思う。

委員：次年度以降に案内看板等を検討していくということで了解した。

委員：田町の清水の清掃作業について、今年度交付金事業で申請があったが、防災面でこの田町の清水の利活用を考えて、自治区予算に入れることができるか。

委員：田町の清水は、防災という観点から、市の防災安全課が執行するのか、管理者である文化課が執行するのかという問題があるが、いずれの課も受けていただけないような状況である。こういった問題は協議会から市に意見を言うことができるので、それも含めて検討したらどうか。

委員：防災面での利活用を検討した場合、場所、水質、水量等を考えて難しいと思う。伝統文化の継承という意味合いであれば理解はできるが、もう少し検討が必要ではないかと思う。

委員：今この場で、結論を出すのは難しいと思う。防災ということであれば、防災を考える会で検討してもらってから挙げていただくということでしょうか。今この場で検討して自治区予算事業として加えるというのは少し無理があると思う。

会長：ではこの件は、今年度の自治区予算で計上せず、防災を考える会の検討を経て、次年度以降に検討する。

【平成29年度地域自治区予算残額について】

委員：具体的にはどういった防災備品を整備するのか。

事務局：自治区予算分科会で検討した結果、避難所で最も困るトイレを整備するという方針となった。具体的には衛生的なラップ式の簡易トイレを整備することとなったが、これは従来の簡易水洗トイレは、自分たちの手で汚物を汲み取りしなければならず、衛生的な問題があるため、ラップ式のトイレを整備するとの方針となった。

【地域計画策定体制について】

委員：地域計画は、この新城地域自治区に限定された計画になるのか。

事務局：新城地域自治区に限定された計画となる。

委員：地域の活動団体へ入って行って意見を吸い上げるということであるが、その団体との調整はどうするか。

事務局：事務局で調整する。

委員：まずはこの案でやってみて、うまくいかないようなら修正していくという方向でいいのではないか。

委員：地域の活動団体へ入って行ってどういった意見を吸い上げてくればよいか。

事務局：何もなしの状態では中々話が進まないので、まず1回目の地域計画分科会で、これまでの茶話会で蓄積された課題等を事務局で整理して情報提供をさせていただくので、それを基に検討していく形になるかと思う。

委員：新たな分科会の設置ということで、忙しさなど不安な点はあるが、まずはやってみるという方向で行きたいと思う。

3 その他

次回協議会：平成29年9月28日（木）午後7時から

新城市勤労青少年ホーム2階集会室にて開催

防災を考える会：平成29年9月30日（土）午後7時から開催予定